

助成・寄付寄贈報告

- ※ 会員様・利用者様より 子供達へのおもちゃ、クリスマスプレゼント、本、自転車など
- ※ 第73回NHK歳末たすけあい助成 なごみ・とっこのクリスマス会企画として

～ 皆様に厚く御礼申し上げます ～

・ 掃除機、子ども用自転車の寄付をいただける方を募っております。ご不要の物がありましたらご協力をお願い申し上げます ・

研修会・講演会のご案内

◆ 定期研修会「Be サポ事例研究会」

研修内容は、原則、奇数月に成人事例のアセスメントを中心としたもの、偶数月に子どもの事例検討を行っています。参加者の皆様とさまざまな意見を出し合いながら、その人らしさを理解し、今後の支援の在り方や方向性を一緒に考えていきたいと思います。

日時：原則、毎月第3水曜日 18：30～21：00 場所：プラサヴェルデ沼津（※変更の際にはご連絡いたします）

参加費：Be サポ会員無料、非会員 1,000 円／1 回

参加資格：心理士、スクールカウンセラー、支援員、教員など、守秘義務を課せられた専門職の方が参加できます。
初めて参加される方は Be サポートまでご連絡ください。

今後の予定：1/17、2/21、3/13＜第2水曜日にご注意ください＞

※この研修会は、臨床心理士資格認定協会の資格更新ポイント（定例型）の申請を予定しています。

Be サポート業務一覧

相談・カウンセリング事業

カウンセリング、プレイセラピー、EMDR、各種心理検査

医療・保健・福祉・教育等 地域機関への協力

母子保健事業（乳幼児健診・発達相談・療育教室）
：伊豆市・伊豆の国市・清水町・長泉町
教育委員会（就学支援・特別支援教育・巡回相談）
：函南町・清水町・伊豆市・長泉町
市民メンタルヘルス相談 ： 伊東市・富士市
県および市町主催ゲートキーパー養成事業
高校スクールカウンセラー・学校支援心理アドバイザー
看護学校スクールカウンセリング
NPO 法人静岡犯罪被害者支援センター
社会的養護関係施設第三者評価事業

被災者支援事業

東日本大震災被災者支援活動「OHANA」

不登校・ひきこもり支援事業

沼津市 ： 東部圏域 居場所「なごみ」（県委託事業）
伊豆市 ： 伊豆圏域 居場所「とっこ」（県委託事業）

企業・事業所への支援事業

メンタルヘルスカウンセリング
企業研修会への講師派遣

研修・啓発事業

専門職対象の定期研修会開催
一般市民対象の講演会開催

児童発達支援事業

障害児・者総合サポートセンターみつばち
-----沼津市-----
保育所等訪問支援 ／ 児童発達支援「あんず」
放課後等デイサービス「かりん」
-----伊豆市-----
みつばち伊豆 放課後等デイサービス「みかん」

相談支援事業

指定計画相談支援・指定障害児相談支援「び～さぼと」

✿・✿・✿・✿・✿・✿ Be サポート会員募集中 ✿・✿・✿・✿・✿・✿

NPO 法人とは、利益を目的とせず社会や地域のニーズを追求し応える活動を行う団体です。臨床心理士を中心とした有志で Be サポートを設立しました。専門的な視点から地域のさまざまなこころの問題に取り組んでいます。現在、正会員 55 名、賛助会員 3 名、学生会員 1 名（2024.1.15 時点）で活動しております。

私たちの活動を応援してくださる会員さんを募集しております。会員の方へは会報誌の送付、研修会や講演会での参加費が優待されます。また地域で働く援助職の方には、ネットワークづくりとしても活用していただいております。会員のご登録をいただける方は Be サポート事務所までご連絡ください。

特定非営利活動法人 臨床心理オフィス Be サポート

クロージャー通信

2024 年 1 月 20 日発行 Vol.34

NPO 法人 臨床心理オフィス
Be サポート

〒4100056 沼津市高島町 29-11 盟萌ビル 201

Tel/Fax 055-925-1701

Mail bersapo@mail.wbs.ne.jp

HP <http://be2011.jimdo.com/>

発行責任者 皆川行寛

『 新年のご挨拶 』

Be サポート理事長 皆川行寛

あけましておめでとうございます。昨年は大変お世話になり、誠にありがとうございます。

NPO 法人臨床心理オフィス Be サポートは、開業して 12 年目に入りました。静岡県東部地域の医療・保健・福祉・教育の各分野で市民貢献を目指し、努力を重ねてまいりました。改めて、連携をさせていただいている行政の方々、医療機関等の方々に、厚く御礼申し上げます。

昨年は、第 3 回日本公認心理師学会学術集会が静岡県でオンライン開催されました。我々の職能団体である静岡県公認心理師協会が主催ということもあり、法人としても学術集会を盛り立てるお手伝いができればと、4 つの演題発表を行いました。①公認心理師が NPO 法人を設立し、地域でどのように活動を重ね、認知されてきたのか、②公認心理師が相談支援事業という福祉分野で、心理師としてのスキルをどのように生かしたのか、③公認心理師が立ち上げた放課後等デイサービスの特徴と課題、④放課後等デイサービスの事例を取り上げ、公認心理師が具体的な療育をどのように工夫したのか。といった観点で発表を行いました。発表後は、内容が不十分であったこと、質問に対し落ち着いて回答できなかったことなど、各発表者は振り返り、反省していたようです。我々にとって、これまでの活動をまとめ振り返る、貴重な機会になりました。

当法人の目的の一つは、何らかの支援を必要とする人への一貫した継続的な支援です。現在、伊豆市においては、1 歳 6 カ月児健診・3 歳児健診での発達相談、伊豆市児童発達支援センターでの療育や発達相談に協力しています。教育委員会の依頼で、市内のこども園・保育園、小・中学校の巡回相談も行っています。市内に小学生の小集団での療育を目的に、放課後等デイサービス「みかん」も立ち上げました。静岡県の委託を受け、中学生以上の不登校・ひきこもりの居場所事業「とっこ」も行っています。このように伊豆市においては、乳幼児から成人までの支援を行える体制が少しずつ整ってきていると感じています。しかし、まだ十分とは言えず、現在放課後等デイサービスを利用して给我们的小学生が中学生になったときにどのように支援していくのか。ひきこもり支援で居場所を利用されている方々に、次の段階としてどんな支援ができるのか。一貫した支援を受けられる環境を、法人としていかに整えられるのか、理事会で検討しながら、準備をしているところです。

今年は新年早々、能登半島地震など痛ましいことが次々と起こっています。東日本大震災の時と同様、法人として分相応にできる支援はしていきたいと思っています。

本年も、我々が出来ることを真摯に行いつつ、地域貢献を継続していきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

第 3 回公認心理師学術集会 静岡大会 演題発表のご報告

12 月に開催された「公認心理師学会学術集会」は、『公認心理師は社会に広がる』をテーマとしており、社会貢献を目標に掲げた私たちの活動を振り返る機会と捉え、Be サポートから以下 4 本の演題を発表させていただきました。

① 口頭発表「公認心理師による法人格での開業の可能性と課題～より幅広い社会貢献を目指して～」（発表者：加藤好子）

13 年前、心理師の少ない地方において Be サポートが NPO 法人として相談室を開設した背景、社会からのニーズに応える形で事業展開し現在の形に至っていること、今後の課題、などを報告いたしました。開設当初は経営も運営も厳しい状況でしたが、より幅広く社会に貢献するために、切磋琢磨し誠実に実践してまいりました。このような事業展開の形態は全国的にも珍しく、全国からたくさんの会員の方にご視聴いただくことができ、貴重なご意見もいただくことができました。

② 口頭発表「心理師の視点で放課後等デイサービスの支援について考える～長期に利用している S 君への支援を中心に～」

（発表者：三須友恵）

心理師が立ち上げた放課後等デイサービスについて、事例を中心に報告しました。小学 1 年生から 9 年間にわたる関わりの中で、アセスメントから実際のスモールステップの設定など、S 君の成長過程と合わせて説明しました。12 分の時間内に発表を納めなければならない、ということに意識が向いてしまい、十分に思いを伝えられなかったことを反省しています。それでも発表後は、多くのご質問をいただくことができ、皆さんに関心をもっていただけてありがたかったです。

③ 口頭発表「心理師が計画相談支援を行う意義について」（発表者：藤崎なほみ）

福祉サービスを受ける障がい児・者のために、公認心理師が計画相談支援を行う時に心理職だからこそできることについて発表しました（内面へ続く→）

た。特に、サービス等利用計画の中に、心理検査(主にウェックスラー法)の結果を踏まえて、本人の得意な側面で苦手な側面を補えるような具体的な支援目標を設定していることを強調し、事例を挙げて発表しました。心理職が計画相談支援を行う事業所はまだ少ないようです。会員の方々には相談支援員に興味を持ってもらえると嬉しいです。

④ ポスター発表「実践報告:公認心理師を中心とした放課後等デイサービスの活動について (発表者:森山徹也)」

放課後等デイサービスかりんについて、開設に至る経緯、活動内容やその目的についての報告、放デイにおける心理師の役割、そして今後の課題などを報告いたしました。心理師の役割の部分では、行動の背景にある課題をアセスメントし、他職種スタッフと共有した上で支援を行うことが重要であるということを発表させていただきました。初めてのオンラインでの発表ということで不安な気持ちもありましたが、会員の方からは貴重なご意見・ご質問をいただくことができました。

今回、自分たちの活動を改めて振り返ることで、新たな気づきや思いが生まれています。これからも地域のために自分たちに何ができるかを考えながら、スタッフ一同、さらに気を引き締めて活動してまいりたいと考えております。

活動報告

みつばち沼津 児童発達支援「あんず」

秋から冬にかけての活動を報告します。秋は公園にどんぐり拾いに行ったり、折り紙で秋の食べ物や葉っぱの切り紙でリースを作ったり、制作で糞虫を作ったりして季節の活動を楽しみました。11月には親子遠足で楽寿園に行きました。動物を観てアスレチックをし、きれいな紅葉の中で、お家の方と一緒に、お友達やスタッフとの楽しい時間を過ごせました。体力もついてインタビューも上手になり、子供たちの成長を感じました。



冬のクリスマス制作では、パクパクサンタさんやベルサンタさんを作りました。色々なサンタさんがかわいらしく壁面を飾ってくれました。クリスマス会ではサプライズで本物の！？サンタさんが登場しプレゼントをくれ、じゃんけんゲームもしてくれました！クリスマスソングやゲームもみんなで楽しみました。

新年は餅つきゲームやビニール袋で作った凧あげをしました。壁は好きなスタンプで作った年賀状で飾られています。

午後の体操の時間に片足立ちの練習を継続しています。最初は難しくて足がすぐに着いてしまうことが多かったですが、足運動やバランスの動き、床にケンケンパを作って遊んでいるうちに、安定して10秒出来るようになってきました。

みつばち伊豆 放課後等デイサービス「みかん」

25日当日、クリスマス会を開催することができました。急なお休みもありましたが、11名のお友達が参加してくれました。ダンスの練習やプログラム作成など、準備も楽しみながら当日を迎えることが出来ました。

6年生の初めの言葉で、会が幕を開けました。1・2・3年生の有志によるダンスの発表。練習しているときとは違う、少し緊張した表情がとても印象的でした。皆の前に立つ貴重な機会になったのではないかと思います。サンタさんからプレゼントも貰い、子どもたちも大喜びでした。

27日は中伊豆の六仙の里に出かけました。アスレチックやハイキング、急な坂道を走って下ったり駆け上がったりと、目一杯体を動かして遊びました。その日は、『いつも寝るまでぐずぐず時間がかかる子が、すぐに眠ってくれて助かりました』と保護者の方から連絡ノートにコメントもいただきました。

年明けは、少人数の利用だったため、特別おやつということで、『チョコレートフォンデュ』を行いました。チョコを漬けるときの約束を事前に確認してからスタートです。おやつでも偏食が多い子どもたちですが、皆、お口の周りにチョコをつけながら、喜んで食べてくれました。今年も、子どもたちと楽しく元気に様々な活動に取り組んでいきたいと思います。



みつばち沼津 放課後等デイサービス「かりん」

12月25日当日にクリスマス会を開催しました。普段より多くの子供達が参加して、賑やかなクリスマス会となりました！

4年生女子2人による挨拶で幕を開け、2番はジングルベルの合唱です。練習の成果を存分に発揮してくれ、大きな声で元気に歌うことができました！今回、ピアノ伴奏を2人の子にお願いしました。はじめは6年生一人に演奏してもらう予定で、本人も快諾してくれていました。けれども直前になって、一人で一曲通して演奏することは難しいという話になり、当日はサビの部分のみを2人で片手ずつ弾くという形でやってもらいました。突然の予定変更でしたが、無事に演奏することができました！子供達が今回の経験を通して、普段からコツコツ練習することの大切さや、一人で取り組むことが難しそうな課題にどう折り合いをつけていくと良いのかといったことを学んでくれていれば、と思います。

その後のゲーム大会やおやつパーティもみんなで楽しく過ごすことができました。難易度の高いゲームに「むずかしい！」と盛り上がり、クリスマスケーキ(苦手な子はお団子)も美味しく食べることができました。

今回のクリスマス会は、子供達の協力もあって無事成功に終わりました。次回も一緒に、楽しい会にできればと思います。



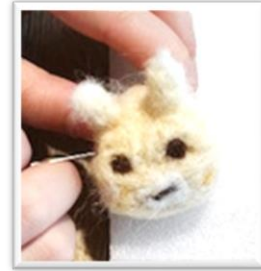
活動報告

伊豆圏域の不登校ひきこもり支援 居場所「とっこ」

秋以降のとっこは、生きいきプラザを拠点にしながらも、他の場所で開所する機会が多くありました。野外活動として六仙の里に行きました。利用者さんのペースで歩きながら紅葉を愛でたり写真を撮ったり、秋を満喫できたと感じています。

また、栄養実習室や城山活動センターをお借りして、念願の調理活動を再開できるようになりました。寒天ゼリー、鈴カステラ、バナナシャーベット、手打ちうどんを作ってきました。アイデア、食材選び、調理や盛り付けの工夫など、手際よく協力しながら取り組みました。みんなで食べて「美味しい」と一緒に言える時間が嬉しいです。

日頃の活動としては、ステンドグラス風の紙箱、フェルトマスコット、折り紙クラフト、ビーズ細工などに挑戦しました。利用者さんの丁寧な取り組みにスタッフは脱帽です。



また12月22日にはNHK歳末助け合い助成をいただき、修善寺虹の郷へ出かけました。当日は快晴気温6℃強風。参加者の皆さんと園内を散策しプレゼントを買って、思い出に残るクリスマス気分を味わうことができました。

今後も利用者さんにとって居心地のいい居場所作りを追求していきたいと考えています。

東部圏域の不登校ひきこもり支援 居場所「なごみ」

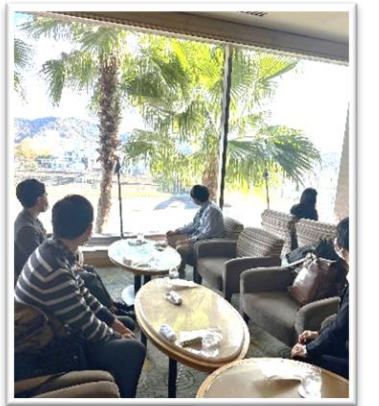
居場所「なごみ」では、新しい利用者さんとスタッフを迎えました。調理や外出ができるようになり、毎月の行事が活動的になりました。来月は何をしようか利用者さん達と話し合い、皆さんの意見を聞きながら予定を立てています。やはり、調理の希望が多いです。たこ焼き、焼きそば、たい焼き、かき氷、ホットケーキ、パエリアなどなど。難しくはないのですが一人では作らないもの、できたて熱々おいしいものを作りました。

外出では暑い時期を避け、楽寿園に菊祭りの鑑賞に出掛けました。青空に菊の花が映えてとてもきれいでした。

クリスマスには、いつもみんなでケーキを作るのですが、今回は外出することになりました。NHK歳末助け合いの助成を受け、リバーサイドホテルの「アフタヌーンティー」に出掛けました。いつもより少しあらたまった服装で、スーツやブレザーを着て、ホテルでのお茶会です。

「久しぶりのスーツ、革靴で緊張した」「初めてホテルで食事をした」と感想はさまざまでしたが、ゆったりとした雰囲気と素敵なケーキやドリンクに、皆さん笑顔で会話が弾んでいました。帰りに、参加されなかった利用者さんにも笑顔になってもらえたらと、クリスマスプレゼントを選びました。今回NHK歳末助け合いの助成を受けた企画でしたが、普段はできない新たな社会経験ができたこと皆感謝しています。ありがとうございました。

「なごみ」は、活動のほかにも、落ち着いてくつろげる居場所として、安心して過ごせるようスタッフがお手伝いしています。ご興味のある方は是非見学にいらしてください。



新スタッフのご紹介

今年度よりBeサポートで勤務している公認心理師・臨床心理士の 服部です。私は大阪生まれ大阪育ちで、今年の3月まで大阪を出たことがありませんでした。静岡は、大阪とは違う制度もあり、地域のことなど、学ぶことばかりです。そして気づけば、あっという間に半年が経っています。

これからも、先輩方に、色んなことを教わりながら、
たくさんの人にそれをお返しできるよう

頑張りたいと思います。



なごみ利用者さんが似顔絵を描いてくれました♡

なごみメンバーさんの作品

